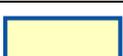
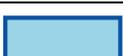
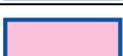
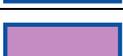


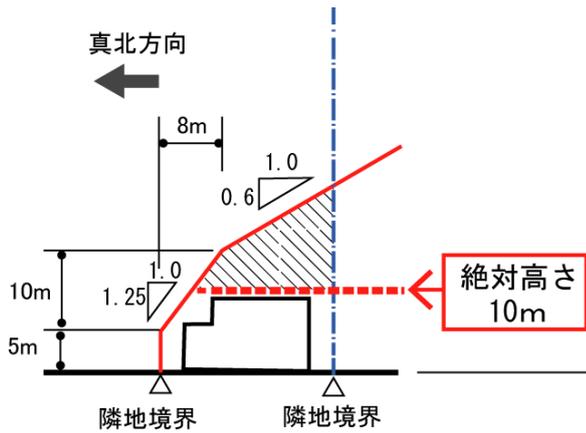
2. 高さ指定値の指定種別

本区における絶対高さの指定種別は表IV-2-1のとおりとなる。

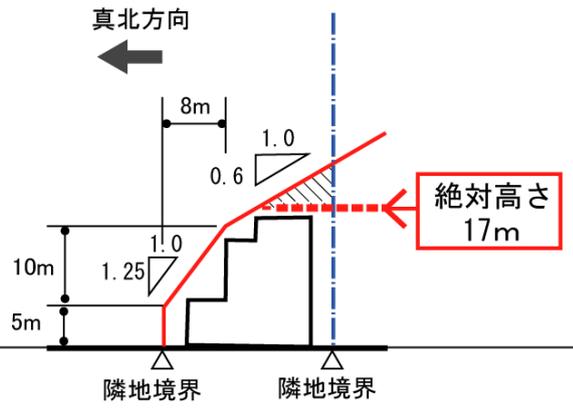
表IV-2-1 絶対高さの指定種別（建築物の最高限度を定める高度地区の種類）

絶対高さ指定値		備考	
北側斜線と併用		10m第2種高度地区	現在の指定のまま
		17m第2種高度地区	
		17m第3種高度地区	
		23m第3種高度地区	
絶対高さのみ		10m高度地区	現在の指定のまま
		16m高度地区	現在の指定のまま
		17m高度地区	
		23m高度地区	
		30m高度地区	
		40m高度地区	
		50m高度地区	
		60m高度地区	案2の場合に指定

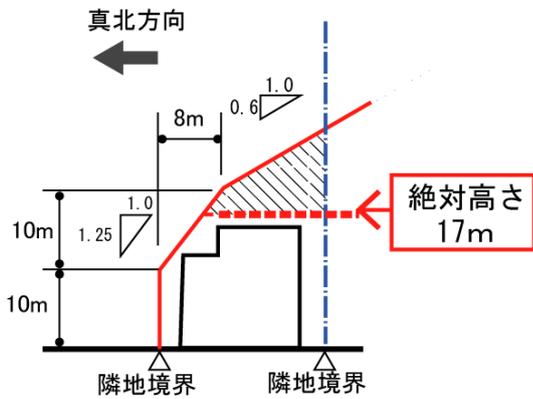
10m第2種高度地区 *



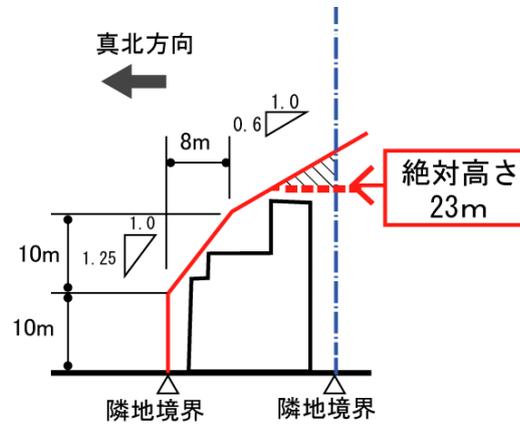
17m第2種高度地区



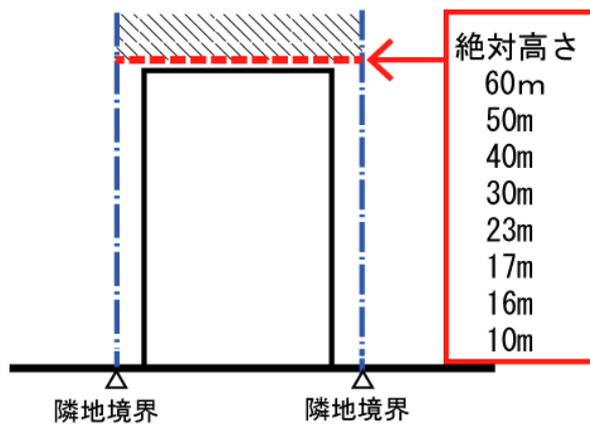
17m第3種高度地区



23m第3種高度地区



10m *、16m *、17m、23m、30m、40m、50m、60m高度地区



注) *印は、現在指定されている絶対高さ指定値

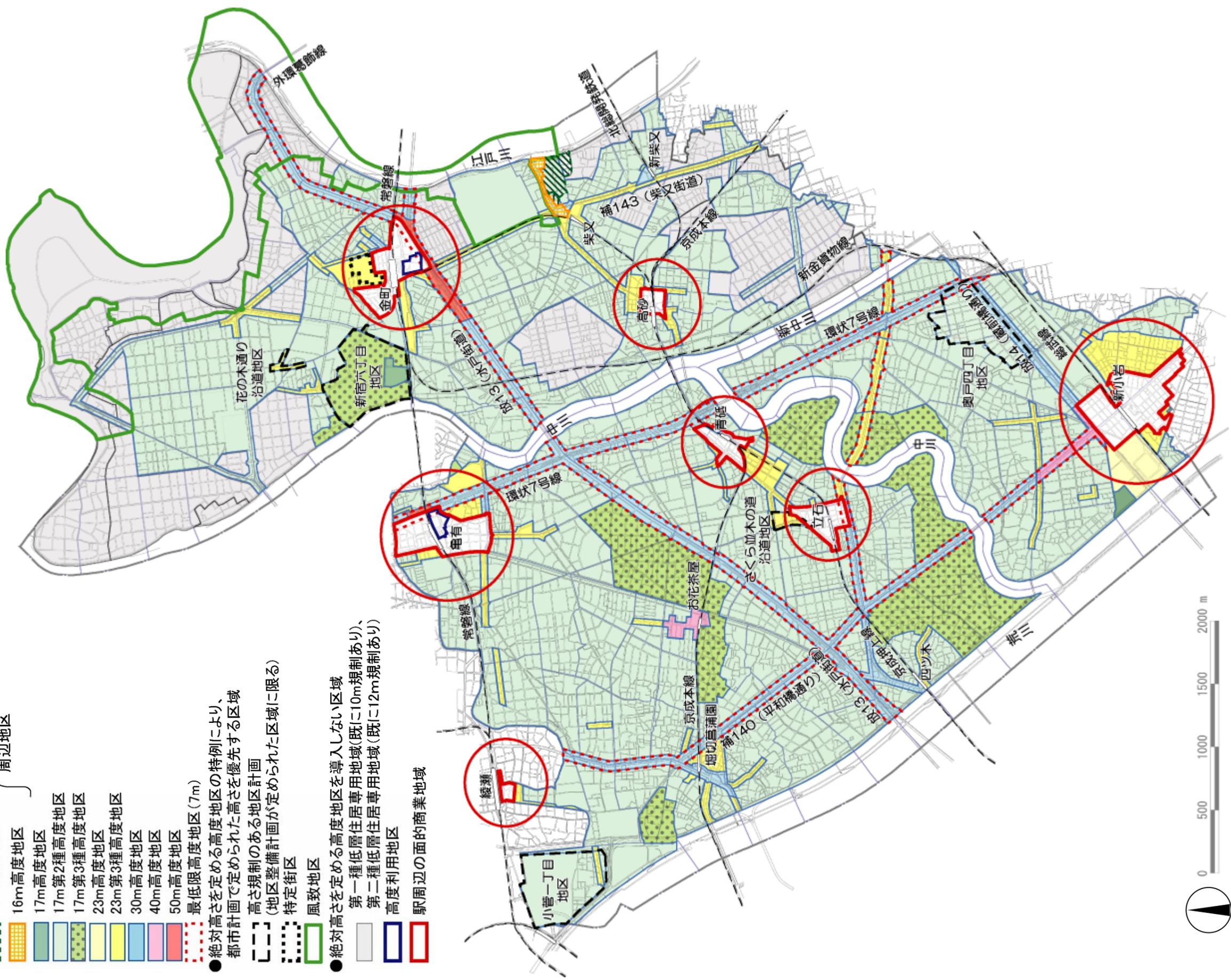
注) 60m高度地区は案2の場合に指定

図IV-2-1 絶対高さの指定値(建築物の最高限度を定める高度地区の種類)

案1 (高度地区の絶対高さ誘導を、鉄道駅周辺の面的な商業地域については導入しない場合)

- 絶対高さを定める高度地区の導入区域
 - 10m 第2種高度地区
 - 10m 高度地区
 - 16m 高度地区
 - 17m 高度地区
 - 17m 第2種高度地区
 - 17m 第3種高度地区
 - 23m 高度地区
 - 23m 第3種高度地区
 - 30m 高度地区
 - 40m 高度地区
 - 50m 高度地区
 - 最低限高度地区(7m)
- 絶対高さを定める高度地区の特例により、都市計画で定められた高さを優先する区域
 - 高さ規制のある地区計画 (地区整備計画が定められた区域に限る)
 - 特定街区
 - 風致地区
- 絶対高さを定める高度地区を導入しない区域
 - 第一種低層住居専用地域(既に10m規制あり)、第二種低層住居専用地域(既に12m規制あり)
 - 高度利用地区
 - 駅周辺の面的な商業地域

※○で記したエリアは案1と案2の違い



図IV-2-2 高さ指定値図 (案1)